



8/22 車の投票所で「清き一票」



11月の新居浜市長選挙を前に、あかがねミュージアム前芝生広場で公用車を活用した「移動期日前投票所」の実証実験があり、親子連れなどが投票体験を楽しみました。

密を避ける新たな投票様式を探るとともに、幅広い年代の人に投票体験してもらうことで選挙啓発につなげようと、初めて実施。この日は「滝の宮公園にあったらいいね！ 遊具選抜選挙」をテーマに、五つの候補から一つを選んで投票してもらいました。

参加者は「こっちが面白そう！」などと話し合いながら、投票箱に一票を投じていました。

8/24 世界で戦える選手になりたい!!



日本プロテニス協会によるジュニア発掘を目的とした「ニュージェネレーション・スカウトキャラバンテニス（全国大会）」の高学年の部で最優秀選手に選ばれた田中稜斗君（角野小5年）が市役所を訪れました。

サーブで相手を崩して、ネット際で攻めるスタイルが得意な田中君。今大会ではボール投げや立ち幅跳びなどの体力審査があり、上級生がいる中で好成績を収めました。副賞として、錦織圭選手のホームグラウンドで有名な米国のIMGアカデミーへの短期留学が決まり、「世界で戦える選手になりたい」と意気込みました。

9/2 長生きの秘訣は「よく噛んで食べる」



9月の「老人の日」「老人週間」にあたり、市内最高齢と満105歳、満100歳を迎えた61人にお祝い状と記念品を贈呈しました。

市内最高齢の長井アヤ子さんは、今年107歳を迎えました。長生きの秘訣は「よく噛んで、よく噛んで食べること」。ごはんを、息子さんがいつも差し入れてくれる焼き芋が大好きだと微笑みました。楽しいことは何かと聞くと「施設でいろいろとお勉強ができること」とはつらつとした声で答えた長井さん。終始、明るく前向きな人柄をにじませていました。

9/2 迅速な開設へ福祉避難所で訓練



災害発生時、一般の避難所での生活が難しい高齢者や障がい者が滞在する福祉避難所。市の指定施設である障がい者福祉センターで障がい者向けの開設訓練が行われ、職員が手順などを確認しました。

災害時、市が一般の避難所で配慮が必要な避難者を調査。必要に応じて指定施設に開設を要請します。訓練では、感染症対策として、一定の間隔をあけて七つのテントを設置しました。実際の利用が想定される障がい者も参加し、避難所を体験。良かった点や気になった点などについて意見を交わしました。